

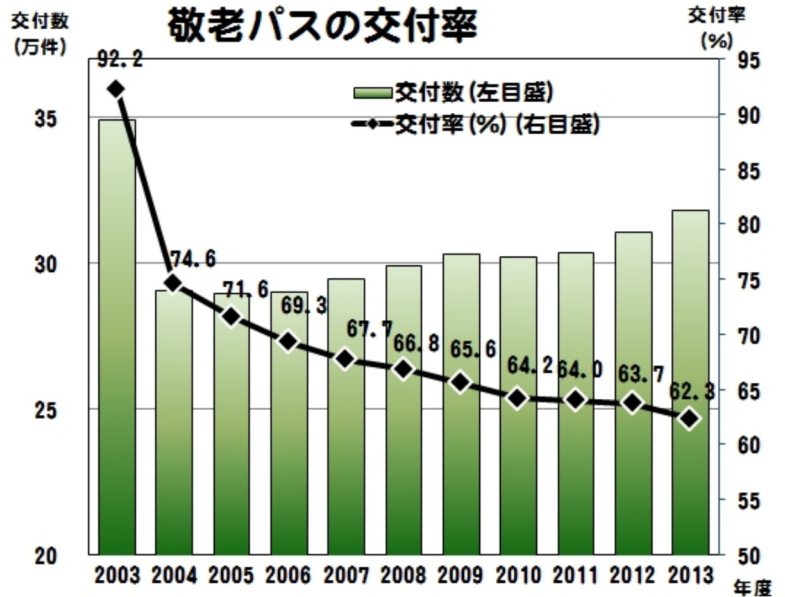
名古屋市政 2015年データ集 敬老パス

市民の宝・敬老パスを守ろう

河村市長は敬老パスを事業仕分けにかけ、負担金の見直しをしようとした。しかし市民の力でこれを食い止め、65歳からの敬老パスを守ってきました。

敬老パスの効果は、名古屋市の調査でも316億円の経済効果があり、健康や社会参加という大きな効果も明らかになっています。

おかげさまで市バス・地下鉄累計乗車人員300億人達成!



敬老パスの経済効果は

316億円

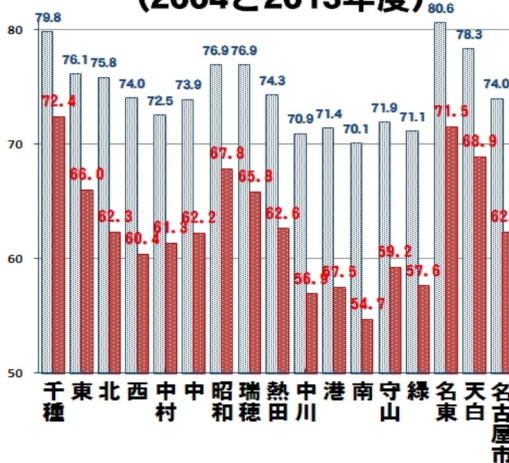
事業費の2.5倍の効果

「名古屋市長官公署の調査に基づいて算出」
日本高齢学協会研究部

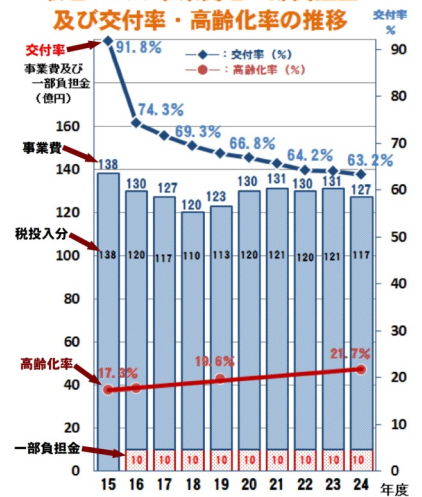
| | |
|--------|--|
| 社会参加効果 | 外出回 1.2回 / バスごらに回数 0.5回増 バスがないと出かけない高齢者 4万8千人 |
| 健康効果 | バスによる増加歩行数 1400歩 |
| 経済効果 | 一人平均消費額 4,210円/回 喫茶代は全国一位 12,367円/年 |
| 環境効果 | バスの利用で車利用も控える人 4万人 二酸化炭素(CO2)削減 6,500トン |

現行制度を継続し
さらなる充実を!

敬老パス区別交付率 (2004と2013年度)

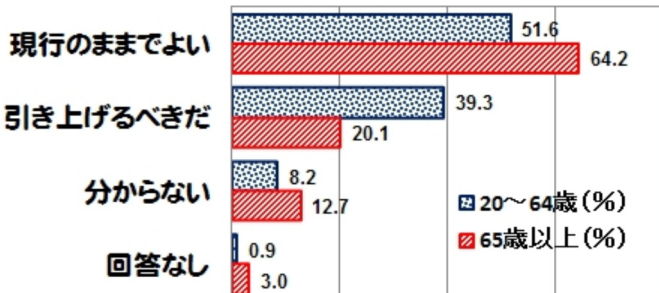


敬老パスの事業費と一部負担金及び交付率・高齢化率の推移



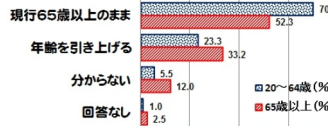
一部負担金について

(名古屋市・敬老パス市民アンケートより)



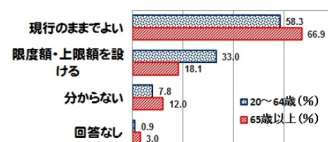
対象年齢について

(名古屋市・敬老パス市民アンケートより)

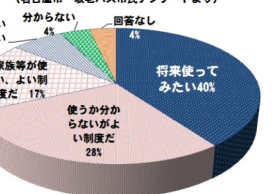


限度額・上限額について

(名古屋市・敬老パス市民アンケートより)



敬老バスをどう思うか (20~64歳の方)



交付を受けない理由 (65歳以上)

